

巨大なソースの修正第二段階修正箇所

- search.jsp で<form>の method が post になっているので get に修正
- search.jsp で検索する時デフォルトでは、名前、年、種別が未記入であった場合を考慮していないので、UserDataDAO.java の search メソッドに未記入の場合の分岐処理を施す。
- SearchResult.java で session に格納する人物情報がデフォルトでは 1 人しか格納出来てないので UserDataDAO.java クラスの search メソッドの戻り値を ArrayList<UserDataDTO>とし ArrayList の情報返し、それをセッションに格納
- UserDataDAO.java クラスの search メソッド、searchByID メソッドはどちらも UserDataDTO.java の値を返すメソッドである。UserDataDTO.java の Date は java.util.Date なのに対し、search メソッド、searchByID メソッドはデータベースからデータを検索し、検索した情報を返すメソッドであり、データベースから取得する Date は java.sql.Date であるのでメソッド内で java.sql.Date を java.util.Date に変換してからセットする。これをしないと ClassCastException が発生する。
- 上記の変換処理を施すと searchresult.jsp でセッションから受け取り表記する生年月日データが英語表記になるので、SimpleDateFormat("yyyy")表記にし format メソッドで String に変換。Resultdetail.jsp では("yyyy-MM-dd")表記に String 変換。
- resultdetail.jsp で表示される値がデフォルトでは userID が 2 の人物に固定されているので、searchresult.jsp から<a>タグの id 情報を ResultDetail.java で Integer.parseInt(request.getParameter("id"))で取得し、この id を UserDataDTO クラスのインスタンスにセットし、UserDataDAO クラスの searchByID メソッドで id に該当する人物情報を UserDataDTO クラスのインスタンスにセットしそれを resultdetail.jsp に送る。
- resultdetail.jsp で「検索結果に戻るボタン」が実装されていないので<input type="submit">で実装。
- Delete.java、Update.java はどちらも何も記述されていないのでそれぞれ仕様通りの処理が進むように変更。
- Delete、Update に対応する SQL 文を実行するメソッドを UserDataDAO クラスに作成。戻り値は必要ないので void。

- update.jsp で更新する人物のデータを表示する為に、UserDataDAO.java クラスにデータを UserDataBeans.java に対応するデータに変換するメソッドを追加(一応作ったが別に無くてもいい)

- update.jsp でデフォルトでは年の部分が<option value="<%=i%>"></option>となっていて値が表示されない状態になっている為<option value="<%=i%>"><%=i%></option>に変更

- update.jsp でデフォルトでは生年月日の年、月で<option value="<%=i%>">と最後に謎のスペースがあり、このスペースが原因で年、月が未記入と認識され(たぶん)UserDataBeans クラスのインスタンスにセットすると 0 に変換され、UD2DTOMapping メソッドを利用すると udd.setBirthday(null);の方に流れてしまう為スペースを消す。

- delete.jsp でデフォルトではリクエストスコープからデータを取得する設定になっているのでこれをセッションスコープからデータを取得するように変更。また「以下の内容で削除します。よろしいですか？」の後に続く形で名前が表示されてしまうので間に
を挿入。ここでは(“yyyy 年 MM 月 dd 日”)表記に String 変換

- updateresult.jsp、deleteresult.jsp でそれぞれ「詳細情報に戻るボタン」、「検索結果に戻るボタン」が実装されていない為、実装。

- 不正なアクセス対策を追加